

117-101

GeneAll Exgene Plant SV mini

実験を行う前に…

- ・初回使用時に規定量のエタノールを Buffer BD と Buffer CW に加えて下さい。
- ・ Buffer PL に沈殿が生じた場合には 65 °C でインキュベートし、沈殿をよく溶かしてからご使用下さい。
- ・ RNase A は、より活性を維持するために -20 °C ~ 8 °C で保管することを推奨します。

サンプルの準備：組織サンプル (湿重量 100 mg 以下あるいは凍結乾燥組織 25 mg 以下) に液体窒素を加え、乳棒と乳鉢を用いて粉末状になるまで素早くすり潰します。

操作方法

カラム・フィルターの名称と外観

EzSep Filter
カラム(リング) : 青色
コレクションチューブ付

Column Type G
カラム : 黄緑色
コレクションチューブ付

溶解

- 1) サンプル
Buffer PL : 400 μ L
RNase A : 4 μ L
- ↓
- 撹拌 (ボルテックス) 1 分

- 2) インキュベート 65°C、10~15分間
* 2,3回転倒混和またはボルテックスを行う

- ↓
- 3) Buffer PD : 140 μ L
撹拌・懸濁 (ボルテックス)
- ↓
- 静置 氷上、5 分間

- EzSep Filter に移す
- ↓
- 遠心 10,000 $\times$ g以上、室温、2分間

- 5) ろ液を新しいコレクションチューブへ
← 6) Buffer BD : 5) の1.5倍量

結合

- 7) Column Type G に移す
- ↓
- 遠心 10,000 $\times$ g以上、室温、30秒間

洗浄

- ろ液を捨てカラムを再セット
← 9) Buffer CW : 700 μ L
- ↓
- 遠心 10,000 $\times$ g以上、室温、30秒間

- ろ液を捨てカラムを再セット
← 10) Buffer CW : 300 μ L

溶出

- 1.5 mLチューブにカラムをセット
- ← 11) Buffer AE : 100 μ L
静置 室温、5分間
- ↓
- 遠心 10,000 $\times$ g以上、室温、1分間

DNA溶液